

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

# F-FACT

ファクト >> Fukui advanced companies' try

【特集】 県内企業 新事業展開・事業拡大への挑戦  
～補助金や相談窓口の活用で想いをカタチに～



## Support with Lease

### リースで地元を元気に。

- メリット① 初期負担の軽減
- メリット② 資金調達の多様化
- メリット③ コストの把握
- メリット④ 事務の合理化
- メリット⑤ 金利変動リスクの回避

#### ◆主要リース物件

<b>情報関連機器</b> コンピューター機器 CAD/CAMシステム 電子交換機(ATM装置など) 複写機 ファクシミリ 通信システム 放送用設備	<b>医療機器</b> MRI装置 CTスキャナ 超音波診断装置 リハビリテーション関連機器	<b>産業用機械設備</b> 産業用ロボット 鍛圧機械 NC工作機械 射出成型機 印刷製本機械 半導体製造装置 コージェネレーションシステム	<b>商業設備</b> 冷凍・冷蔵ショーケース 自動販売機 包装機器 洗濯機 厨房機器 POSシステム 自動倉庫システム 業務用クリーニング機械
<b>土木建設機械</b> クレーン 油圧ショベル ブルドーザー ボーリングマシン	<b>輸送用機器</b> コンテナ フォークリフト 車輛	<b>環境・エネルギー設備</b> 営業車両(社用車含む) LED蛍光灯 空調設備	<b>その他</b> ヨット・ボート ゴルフ場設備機器 駐車場設備

**株式会社福銀リース**

〒910-0024 福井市照手1丁目2番17号  
 TEL 0776-27-5221 FAX 0776-27-5189

# 県内企業 新事業展開・事業拡大への挑戦

～補助金や相談窓口の活用で想いをカタチに～

それぞれの強みを活かし新事業展開や事業拡大に向け努力を重ねている県内企業。それらをサポートする当支援センターの施策の中でも、とりわけ補助金事業や経営相談対応への関心は高いと思われます。そこで今回、それらの施策を利用し新たな展開を見せている企業の取り組みや、専門家へのインタビュー等をご紹介します。新年度に入り、今年度の各種補助金の募集がいよいよ始まっています。読者の皆様の新事業展開へのモチベーションにつなげていただければ幸いです。

## 巻頭インタビュー



**津田 均氏**  
(公財)ふくい産業支援センター  
総合相談コーディネーター  
福井県中小企業診断士協会 会長

岐阜県飛騨市出身、福井市在住32年。平成11年より(公財)ふくい産業支援センターのコーディネーターとして卸小売業、飲食サービス業等を中心として、経営管理、経営計画づくり、販路開拓等を支援。現在、(独)中小機構北陸本部活性化支援アドバイザー等を務める。

世の中を見ていかないと取り残されてしまいます。

もう1点挙げるとすれば、**②働くことへの感覚も変わってきている**ということ。経営方針も重要ですが、それと同じぐらい現場、特に「人」を大事にしなければなりません。まず、自分(経営者)も働く人(従業員)という事実をしっかりと捉えることです。特に高齢の経営者の場合、今の若い人とは「働くこと」の価値観や感覚が全く違うもの、と理解してください。現場の人を理解し、楽しく、働きがいをもって働ける環境づくりをすることが経営者にとっての大きな仕事です。

事業の目標を立てるため、また、事業を上手く進めていくためのコツはありますか？  
また、読者へのメッセージをお願いします。

今後10年のビジネスモデルを築き、世の中に求められているものを生み出していかなければならないとお伝えしましたが、果たして中小企業1社の経営資源だけでそれが可能でしょうか。実際は足りないと

思われます。経営者は孤立してはダメです。これからは他との協働・連携がより必要になってくるでしょう。

新年度です。新しい角度で目標を立ててみましょう。一度、当支援センターのような支援機関に相談にいらしてください。まずはご自身でゴールを定めるまでのサポートをいたします。どこにチャンスがあるのか、一緒に探すところから始めていきましょう。

そして、ご支援できるのであれば、なるべく息の長い関係にしたいと思っています。ビジョンに向けて数値目標を定めますが、それに向けて何をどう努力していくのか、その行程を見直しながらプロセスを積み上げていくことがより重要だと私は考えます。その積み上げを評価してあげる人が必要ではないでしょうか。その1つ1つを検証するのが私たち支援機関の役割と思っています。日々経営者の相談に当たっています。人間誰しも、誰かが見てくれるからやれるという面があるものですかね。

## 今おすすめの施策は？ 「経営力向上計画」「先端設備等導入計画」のご紹介



(公財)ふくい産業支援センター  
総合相談コーディネーター

**松田 博史氏**

新年度を迎え各種補助金についての情報が出ています。補助金は販路開拓や設備投資、生産性の向上に取り組む際にとっても良いきっかけになります。しかし、公募期間や事業期間が指定されており、検討している計画とマッチしない場合も多くあります。

そこで今回は、事業期間の制約を受けない使い勝手の良い制度をご紹介します。それは「**経営力向上計画**」と「**先端設備等導入計画**」の2つです。どちらも、これから実施する事業について記載した計画書を、国または市町に提出して認定を受けると、減税や免税などの税制措置を受ける事ができる制度です。税制措置以外にも、ものづくり補助金などの一部の補助金で、**補助率アップや加点(過去実績)の対象**になります。補助金申請とセットで、これらの計画認定を受ける方も多くいらっしゃいます。やや知名度が低い2つの制度ですが、要件さえ満たせば、補助金と違って確実にメリットを受ける事ができるので、とてもおすすめです。

特に設備投資をする場合にメリットが大きい2つの計画ですが、どちらか一方を選ぶ必要はありません。**両方の認定を受けて、メリットの良いところ取りが可能**です。例えば、経営力向上計画で法人税(※個人事業主の場合は所得税)の控除を受け、先端設備導入計画で固定資産税の免税措置を受ける事も可能です。提出する申請書は、各種補助金に比べてとても簡単なものです。実際に頭を捻って書いていただくのはどちらの計画も2枚程で、決められた枠に決められた内容を書くだけです、**とても書きやすいのが特徴**です。

尚、申請書の書き方は業種によってルールやちょっとしたテクニックがあります。もちろん、テクニックが無くても十分に認定を取る事は可能ですが、修正・再提出が繰り返し発生し、手間と時間を要してしまいます。ふくい産業支援センターの総合相談窓口では制度のご説明はもちろん、申請書作成のお手伝いもしております。専門家と一緒に検討する事で、事業の見直しができたり、新たなアイデアが生まれたりするなど、**事業自体のブラッシュアップも図れます**。何度ご相談頂いても無料ですので、是非お気軽にご利用ください。

● **ミニセミナー開催します。詳細はP.12へ**

	経営力向上計画	先端設備等導入計画
根拠法	中小企業等経営強化法	生産性向上特別措置法
認定を与える主体	国	市区町村
計画期間	3,4,5年のいずれか	同左
ものづくり補助金	加点項目	加点項目+補助率アップ
小規模持続化補助金	加点	加点
固定資産税の軽減率	なし	ゼロ(～1/2)
その他の税制措置	法人税(所得税)において、即時償却 or 取得原価の10%の税額控除	なし
金融支援	低利融資、信用保証など	信用保証
認定支援機関の確認書	不要	必須
認定取得までの所要時間	約30日	約15～30日
難易度	5段階中 レベル2	5段階中 レベル1.5

4月から新年度を迎える県内企業も多いと思われますが、**新事業展開や事業拡大のために今、経営者が考えるべきこと、必要なことは何でしょうか？**

まずは、**①世の中が大きな転換点にあると知る**ことではないでしょうか。少子高齢化、人件費や材料費の高騰など、経営環境は10年前とは大きく変わっています。これまでであれば成功してきたであろう既存モデルが通用しなくなってきたり、生き残るためにビジネスモデルを作り直さなければならぬタイミングといえます。これは企業規模の大小に関わりません。小規模企業であれば小規模なりに地域の中で、また、ニッチな業界において求められるものがあり、それに向けて挑戦していくことが大切です。

「持続可能な開発目標(SDGs)」をご存知でしょうか。2015年の国連サミットで採択された持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための国際目標のことです、2030年の実現を目指し、「貧困」「飢餓」「ジェンダー」「エネルギー」といったような17の項目(下図)が



掲げられています。これは一例ではありますが、今後、企業評価の基準が、売上などから徐々にこういった指標に変わっていくのだと思います。これらを企業活動の基本に据えてぜひ事業を進めていただきたい。うちは中小企業だから関係ない、なんてことはありません。広い視野を持つて

### CONTENTS

- 01 特集 県内企業 新事業・事業拡大への挑戦  
～補助金や相談窓口の活用で想いをカタチに～  
・イントロダクション  
インタビュー：総合相談コーディネーター 津田 均氏、松田 博史氏
- ・企業事例  
株Hacoa、(株)ツギ、株PANTES365Japan、(株)オスタジオ  
・合同プレゼンテーション会  
・登壇企業5社ダイジェスト紹介  
・インフォメーション  
新年度募集開始の補助金情報
- 13 今月の注目企業 株ふらむはあとリハビリねっと
- 15 Start a New Project 株ミネルパコスメディックス  
サuntimeソーイング
- 16 教えて！産総研
- 17 中産大通信 今求められる人材育成
- 18 グッドデザインシンキング
- 19 話題の新スポット巡礼 中島屋農服店
- 20 インフォメーション 他



(左) 東京ドーム近くの閑静なエリアに立地する『DRYADES』。



(右) 木目を模した木型で作ったチョコレートなど目にも楽しいラインナップ。ショコラティエが本格的に作る一口サイズのボンボンチョコレートは絶品!と市橋氏。

2019年1月25日、高級住宅街に近い東京都文京区に『DRYADES』がオープン。話題性もあり、路面店の店先には開店時間前から行列ができ、品切れが続出したといいます。「バレンタインデー前だったこともあるのですが、食の市場の分母の大きさを感しました」と手応えを語ります。年末には渋谷近辺の商業施設で、Hacoaと『DRYADES』のショップを同フロアに出店予定。それぞれのファンに来てもらい、いかに相乗効果を生みだすかを検討中です。「まずは、チョコレート。これからフレッチなどの料理にもいくかもしれません。何をやるにしても、プロデュースする力を身に付けることが一番大事。モノづくりの力とプロデュースの力があれば、商品は動く。

### プロデュースする力の大切さを社員に伝える

つくりまします。店頭では、使用した木型とチョコレートと並べて陳列。Hacoaだからこそその世界観を繰り広げていきます。



そのことを社員が磨き上げる投げかけはできなかなと思えます。今年、有限会社を株式会社に変更。Hacoaに社名を分野への進出で五感のすべて



売り場奥と2階の厨房で手作りされるチョコレート。木型での製造は洋菓子業界では珍しいとのこと。



をつくりだすことも可能となり、『Hacoa Village構想』を推進する土壌は整いました。人と人が交流し、モノとコトをつなげる新しい「場」の創造は、未来にさらに大きな実りをもたらさずしよう。

## CASE 1

# チョコレート専門店で、食という新分野に進出

## 株式会社 Hacoa



市橋 人士 氏

2019年1月、木工雑貨の製造・販売を手がける株式会社 Hacoa が、東京にチョコレート専門店『DRYADES (ドリュアデス)』をオープンしました。立ち上げにあたっては、ふくい産業支援センターの新分野展開スタートアップ支援事業の補助金を活用。Hacoa ブランドから「食」という新分野参入にいたった経緯を、代表取締役の市橋人士氏に伺いました。

### 株式会社 Hacoa

https://www.hacoa.com/  
所在地：鯖江市西袋町 503  
代表者：市橋 人士 氏  
事業内容：漆器製品、デザイン商品、食品等の企画・製造・販売  
従業員数：84 名  
電話番号：0778-65-3112

### 若い社員の力を生かす新しい武器のひとつに

同社のある鯖江市河和田地区は、約1500年の歴史ある越前漆器の産地です。同社はその中でも業界で「箱もの」といわれる木地づくりを手がけ、2001年に職人技を生かした木製デザイン雑貨 Hacoa ブランドを立ち上げました。その後、リーマンショックを機に、「自分でつくったモノを自分たちで売る」スタイルを追求。2010年、東京・上野の直営店オープンを皮切りに、大阪、横浜、名古屋、仙台など全国13店舗を展開しています。

「2000年頃、東京で飛び込み営業をしたとき痛烈に感じたのが、産地の現状と時代とのズレです」そう振り返る市橋氏。このままでは若い人が集まらなくなり、木地づくりの技術を継承できなくなると懸念し、Hacoaブランドを創設しました。当時は周囲からの反発もありましたが、「周りから何を言われようと、自分が前へ進むことで、次の世代が追いかけてくれるだろう」と信じ、同事業を拡

大。今では、全国から入社を希望する若者が集まるまでになりました。

さらに、2年程前から「モノをつくり、モノを売る」形態に境界を感じ、「コトをつくるポテンシャルのある会社」を模索。『Hacoa Village構想』を打ちだします。そこで若い人の力を生かす新しい武器のひとつとして辿り着いたのがチョコレートでした。



鯖江市河和田地区の本社。ダイレクトストアを兼ねています。

### 木を共通コンセプトに Hacoa の価値を向上

「木工ではつくれない五感に、食で得られる味覚があります。チョコレートは自然の恵みであるカカオの木の実が原料で、木の恵みを生かしてチョコレートをつくることで、Hacoaブランドの価値をさらに高めることができます。」

食という新ジャンル参入にあたり、市橋氏はふくい産業支援センターの新分野展開スタートアップ支援事業を活

用。食の勉強をするなかで、世界中でレストランの立ち上げに携わる松本圭介エグゼクティブシエフに出会い、チョコレート製造体制を整えていきます。シエフシヨコラティエには、パリの屋付きレストランで経験を積んで帰国したばかりの斎藤拓野氏が就任。店の名前はギリシャ神話に登場する木の精を意味する『DRYADES』とし、「木の好きな職人が木の好きな人に贈るチョコレート」をコンセプトに、「グレース・オブ・ツリー Hacoa チョコレートプロジェクト」をサブテーマに掲げました。チョコレートを流し込む型は、社員が3Dプリンタで木の造形を取り入れた樹脂素材のサンプルを製作。職人の技で木型に落とし込み、一枚一枚チョコレートを流し込んで



(右) 開店準備中（取材当時）の『TOURISTORE』の様子。  
 (左上) 工房見学エリア。職人の作業を間近で見れ、塗りについて話すこともできます。  
 (左下) 壁の仕上げなどDIYで行ったところも。賛同する知人・友人らも手伝ってくれたとのこと。

その後も、漆器の工房にデザインオフィスが入居する物件は、国内でも他に例がありません。新山氏と錦古里氏の出会いは5年前。錦古里漆器店は、先代が1階を工房見学兼ショールームにしていたが、錦古里氏が継承後は2階を工房とし、1階は手つかずの状態になっていました。その頃、大阪から鯖江に移住した新山氏は、「創造的な産地をつくる」というTSUGIの活動をスタートしており、ものづくりを志す若者が集まれる場所を探していました。いずれは工房見学を復活させたいと考えていた錦古里

### 産地を活性化していく 新しい試みに挑戦して

いること。越前和紙や越前打刃物などの産地でまわれる工房やショップが増えると、3年後位に福井全体がめちゃくちゃ良いところになる」と語る新山氏。錦古里氏も「うちらがこれをやって、『自分とこも何かやってみよう』と産地の人が思ってくれたら、それだけで値打ちがあるんですよ」と頷ぎます。



氏と新山氏の意向が一致し、1階の一角をイベントスペースとして活用することに。新山氏が独立後は、デザインオフィスとして使っていました。親子ほど年の離れた二人ですが、産地活性化にかける熱い思いは同じです。錦古里氏は「越前漆器は時代にあわせて常に技術をアップデートしてきた。産地としての生き残りをかけ、今後、僕らのモノづくりの技術に彼らのデザインする力を新しく取り入れていけたら」と意欲を見せます。新山氏も「僕らが目指す今までにない特徴を持った新しい産業観光のモデルが県内



(右) 錦古里氏と新山氏。新店舗について活きいきと語ります。  
 (左) ストアに置かれるオリジナルブランドのアクセサリ。(一例)

産地の刺激になり、福井全体がひとつに盛り上がっていったら。今からが一番おもしろくなる時期ですよ」と笑顔で展望を語りました。

## CASE 2

# 北陸新幹線を見据えた、 産業観光の拠点づくり

## 合同会社ツギ



新山 直広 氏

2019年4月21日、鯖江市河和田地区に複合施設『TOURISTORE（ツーリストア）』がオープンします。産地特化型のデザインを手がける合同会社 TSUGI（ツギ）と併設する錦古里漆器店が、それぞれふくい産業支援センターの助成事業などを活かして実現した新店舗の経緯と展望を、TSUGI 代表の新山直広氏と越前漆器の塗師錦古里正孝氏に伺いました。

### 合同会社ツギ

http://tsugilab.com/  
 所在地：鯖江市河和田町 19-8  
 代表者：新山直広氏  
 事業内容：デザイン、商品開発、イベント企画・運営  
 従業員数：6名（アルバイト含む）  
 電話番号：0778-65-0048



同社がメインビジュアルも担当した『RENEW』

複合施設『TOURISTORE』を立ち上げるきっかけは、新山氏がダイレクションを務めた丹南エリアの体験型マーケット『RENEW』の成功でした。2018年には、県内外から約3万8千人の来場者数を記録。産地の知名度を高めるとともに、産地内のファクトリーショップも増えていきました。そこで「通年で産地のものづくりに触れてほしい」と考え、新山氏は「ものづくり・デザイン・観光」をテーマに、自らのオフィスを活用した『TOURISTORE』のプロジェクトに着手します。

### ものづくりに触れる旅 通年型産地観光の拠点

家主である錦古里氏も、『RENEW』の漆塗り体験ワークショップで手応えを感じていたことから、プロジェクトに賛同。錦古里氏はふくい産業支援センターのふくい老舗企業チャレンジ応援事業に、新山氏は同センターのおもてなし産業魅力向上事業に申請し、助成金を活用してリニューアルを進めました。



完成した施設は、西側に錦古里漆器店の塗り工程を常時見学できる工房、ショップ、漆塗り体験ゾーンを設置。中央部に、福井の産業観光の拠点となる観光案内所を置き、漆塗りのレンタルサイクル貸出を実施。東側は、デザイン性の高い福井の産品を集めた『SAVA!STORE』初の直営ショップとデザインオフィスを置きました。

### 北陸新幹線延伸を前に 各産地に刺激を与えて

施設内の連携はもちろん、地域における工房の販路やショップのファン層を共有することで、「エリア全体の賑わいの創出や新規顧客層の開拓・売上向上につなげていきたい」と語る新山氏。その先に見据えるのは、4年後に迫った北陸新幹線延伸開業です。「タイミングがけっこう重要で、早めに行っておかないとスタートが遅くなる。うれしいのが、僕らの今回の改装を知って、『RENEW』の関係者たちが『うちらも何かやってみようか』となって

CASE 4

# 勝山観光に魅力ある「食」を 伝統料理を打ち出し新たな流れをつくる

旬菜食祭 お食事処 花月楼 (合同会社ジオスタジオ)



吉川 浩之 氏

かつて花街として栄えた勝山市河原町通りに建つ有形文化財「旧料亭花月楼」。築110有余年の風格をとどめリノベーションされ、ふくい産業支援センターの創業支援事業等を活かし、2017年4月に勝山の郷土料理を楽しめるお食事処としてオープンしました。これまでの2年間と今後について、運営会社である合同会社ジオスタジオ業務執行役員の吉川浩之氏にお話を伺いました。

**合同会社ジオスタジオ**  
<https://katsuyama-navi.jp/kagetsuro/> (花月楼)  
 所在地：勝山市勝山市本町2丁目6-21 (花月楼)  
 代表者：宇野 雅博 氏  
 事業内容：旬菜食祭 お食事処 花月楼、ジオターミナルの運営  
 電話番号：0779-64-4001

「まちぐるみのビジョン 勝山の観光を盛り上げる」

伝統のハレの料理ばっかや里芋のころ煮、厚揚げの煮物、川魚など、勝山の昔ながらの郷土料理ランチが人気の『旬菜食祭 お食事処 花月楼』。料理はもちろんのこと、繊維業で潤った当時の繁栄を象徴する趣ある建物も魅力の一つで、「お食事の後、見学される方も多くいらつしやいますよ」と吉川氏が話すように、2階の大広間の独特の建築意匠である「傘天井」は見る者を魅了します。

当リノベーションの企画は、勝山市と勝山商工会議所の観光へのビジョンにより持ち上がった。当時、県立恐竜博物館への来館数は年間100万人へと拡大するなど観光客は増加していたものの、市内の飲食店のキャパでは賄えず、団体客などがランチタイムに市外に流出している状況がありました。勝山市内の「食」の強化のため、市と商工会議所、地元金融機関、さらに地元飲食店有志による合同会社ジオスタジオがタッグを組み、勝山市観光まちづ



くり株式会社を設立。花月楼、長尾山のジオターミナル、道の駅(2020開業予定)の3拠点の整備を進めました。その中でも、まちなかの観光拠点としての役目を担うのが同店です。

**運営の中で見えてきた新たな方向性への挑戦**

オープン当初から店舗の運営を任されてきた吉川氏。当時のランチの実情をこう明かします。「幅広い層のお客様に楽しんでいただきたいと、これまでは様々なメニューをそろえたビュッフェスタイルでしたが、メインターゲットに据えていた恐竜博物館からのファミリー層よりも、地元の方の来店が多いという結果でした」。地元には定着したものの、観光客の取り込みに

は別のアップローチが必要と、昨年12月から定食メニューのみの展開に舵を切りました。

「ファミリー層とはいえず、中京・関西地区からのロングドライブと博物館観光でぐつたりという方がほとんど。立ち座りの多いビュッフェよりもゆつくり寛いでいただきたいという思いでスタイルを変えました」と吉川氏。メニューも、より地元色を強く打ち出したものの中心の構成にし、内容をブラッシュアップしたといます。早くもその効果は表れており、「県外からの若い人や外国の方からもとても好評です。手作りの素朴な料理が、彼らには逆に新しく映っているようです」と手応えを語ります。



新メニューでのオペレーションも固まり、大型連休を前に旅行会社などとの打ち合わせも順調に進んでいる様子。オープンからちょうど3年目となる今、勝山らしさを前面に心機一転、観光客を出迎える同店です。

CASE 3

# 補助金の活用と相談窓口の両輪で 新事業への挑戦と経営基盤の強化を進める

株式会社 PANTES365 Japan



今井 薫 氏

2006年に創業、うずまきのロゴマークでおなじみのベーカリーショップ『PANTES』。看板商品「あん食パン」の販路拡大に向け、本格的なBtoB展開を目指す同社代表取締役の今井薫氏と、定期的に経営相談に乗るふくい産業支援センター創業マネージャー(2018年度)のどんまる鈴木氏との取り組みをご紹介します。

**株式会社 PANTES365 Japan**  
<https://pantes.jp/>  
 所在地：福井市松本4丁目12-14  
 代表者：今井 薫 氏  
 事業内容：パン製造・卸・販売  
 電話番号：0776-28-0365

原料の仕入れから仕上げまでを店舗内で行い、焼きたてのパンが強みのPANTES。中でも、同店の代名詞ともいえる「ふんわり&もっちり」食感にこだわったあん食パンは、売上の1/3を占める人気商品です。独自の低温長時間熟成発酵と3度のガス抜きといった他店には真似できない手間ひまが、その美味しさを生みだします。

「PANTESのあん食パン」という認知はある程度浸透したのでは」と、これまで進めてきたブランディングを振り返る今井氏。次のフェーズとして、県内のスーパーを中心

**補助金を活かし設備導入 BtoB本格展開への足掛かりに**



としたBtoBによる販路開拓を徐々に進めてきました。あん食パンの生産キャパを上げるため、昨年ふくい産業支援センター「新分野展開スタートアップ助成金」の採択を受け、ワンオフのあん食パン専用の成型機を導入。これにより熟練職人で2時間かかっていた工程が1時間まで短縮するなど効率化に成功し、スーパーへの卸店舗数を順調に増やしています。

**アドバイスを実行 二人三脚で経営力をアップ**

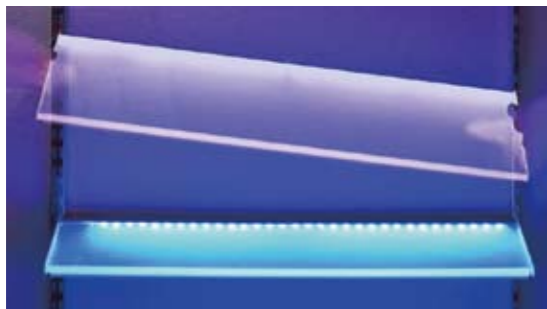
一方で、「本店の売上げがあつてのBtoB」と元来の店舗販売にも一層力を込める今井氏。同業他社の参入による競争の激化で、最盛期よりも下火となつていた状況を打破しようと、昨年相談を持ちかけた先が、創業マネージャーのどんまる鈴木氏でした。県産業情報センター7階のコワーキングスペースで行われる相談会に、月に1回の頻度で通う今井氏。事業の進捗具合や前回の相談でもらつた「宿題」の結果を二人で検証

し、次の一手を模索していきます。

「今井さんはスピード感がすごい！こちらのアドバイスをすぐに試して、それがちゃんと数字につながっている。今に大当たりを引くのを感じますね」とその姿勢にどんまる氏は太鼓判を押します。中でも、SNSでの集客やLINEクーポンはたった数カ月の実施で目に見える効果が出ているそう。この日の相談でも「SNS投稿をシェアしてくれたお客さんに割引してみよう？」、「LINEでお客様アンケートしてみたら？」、「月1限定の食パンなんか作ると話題になるよ」などなど、どんまる氏から飛び出す新たな提案を今井氏は真剣な様子でノートに記していきます。具体的な進め方や細かなテクニックも惜しげなく伝えられていました。

売上アップのほか、社員教育や人事制度の見直しも大きな課題に掲げる今井氏。同じ経営者の立場としてのどんまる氏からのアドバイスは共感できると話します。両氏の経営者と伴走者・メンターとしての関係は今後も続きそうです。

### 棚下照明『置くピカ☆シリーズ』



様々な小売店を経験してきた同社代表取締役の竹内氏が、8年の歳月をかけて“置くだけで光る”これまでにない棚下照明システムを開発。「置くピカ」「置くパネ」「ララライト」のシリーズ3製品を商品化しました。従来の、煩雑で美観を損ねる配線コードや専門業者でないと工事ができないといった問題を一挙に解決。業界初のコードレス化やドライバー1本で既存棚への取り付けも可能にしました。ミリ単位でのサイズオーダーはもちろん、店舗内の明るさや商品イメージなど顧客のニーズに合わせた製作が可能です。

#### ア・バンブー株式会社

<https://www.okupika.info/>  
敦賀市呉竹町1丁目38-12  
☎ 0770-47-6770

### 石臼挽きそば粉『日曜日のガレット』



越前市の製粉会社がこだわりの石臼挽き製法を用いて商品化したガレット専用そば粉「日曜日のガレット」。“パパッとおいしくヘルシーに”をコンセプトに、風味豊かな福井県産在来種とアメリカ産マンカン種のブレンドで、美味しさを追求したことはもちろん、手軽にガレットを焼くことが出来るよう、一番粉、二番粉、三番粉それぞれの配合にも工夫をした商品です。カリウム、鉄、食物繊維、ルチンなど、体に良い豊富な栄養面も注目されるそば粉。そば以外の日常使いというアプローチで新たな販路を目指す同社です。

#### 有限会社三田村製粉所

<http://www.mitamura-seifun.com/>  
越前市余川町32-7  
☎ 0778-27-1550

### 16層の平焼きパウムクーヘン 『IZUMO BAUM』『IZUGUMO & chocolate bar』



IZUMO GROUPの洋菓子店VIVANTが昨年から開発に取り組んできた新商品「IZUMO BAUM IZUGUMO (十六雲)」。素材にもこだわった、県内でも珍しい16層の平焼きタイプのパウムクーヘンです。県産コシヒカリのもちもち感、しっとりとした口当たり、香り立つような深いコクの味わいが特長。その美味しさのために、生地を極めて薄く流し込み、各層均一の柔らかさを保ちながら一層一層丁寧に焼き上げています。また、同シリーズ「chocolate bar」はインスタ映えするPOPなデコパウム。県内外の催事で話題となりました。

#### VIVANT (びばあーん)【株式会社出雲記念館】

<http://www.izumotaisya.jp/vivant/>  
福井市洲2丁目1907番地  
☎ 0776-43-1955

県内企業の新商品・  
新サービスのPRを  
お手伝い

### メディア向け合同 プレゼンテーション会 登場企業ダイジェスト&事業紹介

当支援センターでは、事業を活用し新商品開発や新事業展開に取り組まれた県内企業を広く知っていただくため、企業がメディア関係者に対して説明する合同プレゼンテーション会を開催しています。2月に行われた第6回目となる同イベントには、5社が登場。すでにこれをきっかけに、新聞紙面に取り上げられた企業もあります。ここでは、補助金やデザイン研修を通じて完成させた各社のこだわりの商品と合同プレゼンテーション会についてご紹介します。

## 合同プレゼンテーション会とは!?

皆様が開発された新商品や新規事業などを、メディアを通じ認知度向上を図っていただくために(公財)ふくい産業支援センターが主催するメディア関係者へのプレゼンテーション会です。企業の皆様がメディア関係者を前に、直接プレゼンテーションができるチャンス!より新聞やテレビに取り上げられるための、事前サポートメニューも充実しています。

**対象事業** 当センターが関わりを持たせていただく中で生まれた新商品や新規事業(それをもとに改良した商品等も含みます)などで、新聞やテレビ等でまだ広く周知されていないもの。

**募集定員** 4~5社程度(無料)

#### point 01 プレゼンテーションの様子をウェブで配信

当日の発表の様子はYouTubeでLIVE配信いたします。その後、当支援センターのウェブサイトでも公開するため、当日来られなかったメディア関係者の目にも触れるチャンスがあります。



※平成30年度第2回配信動画はこちら  
<http://www.fisc.jp/blog/2019/02/1829/>

#### point 02 事前サポートメニュー

プレゼンテーションの個別指導、リハーサル会を通して、よりプレゼンテーションの成果を高めていただけます。プレゼンテーションの発表資料やプレスリリース資料の作り方、プレゼンテーションの実践ノウハウ習得などについてマーケティングやブランディングなどの専門家から指導を受けられます。

### 手軽に遠近両用『メガネに貼るルーペ』



高屈折偏光レンズを世界中に販売している同社が開発したのが、メガネやサングラスに貼って使えるシートタイプのルーペ。手元の細かい文字やスマホが見えづらいが、「遠近両用メガネにはまだ抵抗がある」、「近くを見る時にメガネを外したり、老眼鏡にかけ直したりするのが面倒」という人にぴったりの商品です。貼り直しによる粘着力の衰えがなく、洗浄して何度でも使える優れモノ。すでに県内のメガネ店で販売を開始しており、今後はスマホアクセサリなどとしても全国への販路を目指しています。

#### 株式会社ホブニック研究所

<https://hopnic.co.jp/>  
鯖江市下野田町27-46  
☎ 0778-62-2629

### 『漆器小宮Curumi』



越前漆器の産地 河和田で業務用漆器製造販売を手掛ける同社が製品化したのが、手に収まる美しい球形フォルムのいれもの「Curumi」です。「想いを包む」をコンセプトに、本当に大切なものを納めるのにふさわしい特別なものを目指し、漆器職人の技術を活かし手作業で作られています。天然木ケヤキの杓目が美しく、1つとして同じものはありません。時代とともに変化するお墓の在り方や供養の方法の変化に合わせて、まずは大切な家族やペットのための手元供養品などといった用途での販売を見込んでいます。

#### 株式会社ヒロセ

<https://www.hirosejapan.com/>  
鯖江市片山町6-1  
☎ 0778-65-0103

講  
料  
無  
受

## 経営者にオススメ！ 経営に役立つミニセミナー（4月分）を ご用意いたしました。

（公財）ふくい産業支援センターでは、主に経営者の方向けにミニセミナーを実施しています。セミナーは、基本マンツーマンで行うだけでなく、終了後は個社別のご相談もお受けします。また、後日のご予約をいただくことで、自社向けに納得するものが完成するまで何度でも継続してご利用いただけます。まずはお気軽に「総合相談窓口」までご連絡ください。

### 1 「経営力向上計画」活用ミニセミナー

- こんな方におすすめ
- 設備投資を検討している方
  - 法人税、固定資産税の節税をしたい方
  - ものづくり補助金で加点を受けたい方
- メニュー
- 「経営力向上計画」「先端設備等導入計画」の概要説明
  - 申請書の書き方に関するレクチャー、アドバイス

### 2 「先端設備等導入計画」活用ミニセミナー

- こんな方におすすめ
- 設備投資を検討している方
  - 固定資産税の節税をしたい方
  - ものづくり補助金で加点、補助率アップを受けたい方
- メニュー
- 「先端設備等導入計画」の概要説明
  - 申請書の書き方に関するレクチャー、アドバイス

### 3 「ものづくり補助金」ワンポイントアドバイス

- こんな方におすすめ
- 初めて「ものづくり補助金」の活用を検討している方
  - 申請書のブラッシュアップをしたい方
- メニュー
- ものづくり補助金の概要説明
  - 作成された申請書に対するワンポイントアドバイス
- ※上記セミナーは、申請書の代筆を行うものではありません。

■担当講師：松田 博史（まつた・ひろし）（中小企業診断士）

■実施日：[嶺北]4月10日(水)、24日(水) [午前]①9:00～ ②10:30～ [午後]③13:00～ ④15:00～  
[嶺南]4月11日(木)、25日(木) [午前]①9:00～ ②10:30～



#### 総合相談窓口【相談無料・事前予約制】

毎週月曜～金曜（休日・祭日を除く）[嶺北]9:00～17:00 [嶺南]9:00～12:00  
TEL:0776-67-7400 FAX:0776-67-7429 E-mail:soudan-g@fisc.jp  
URL: <http://www.fisc.jp/consult/sougo/>  
※上記URLから専門家の当番予定日や予約状況が確認できます。まずはお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ

（公財）ふくい産業支援センターでは、嶺南地域の企業支援を目的として「嶺南サテライトオフィス」を設置（アクアトム2F（敦賀市））し、ご相談に対応しております（相談無料）。

## INFORMATION

# 平成31年度 各種補助金募集情報

（公財）ふくい産業支援センターでは、毎年様々な補助事業で県内企業の取り組みを資金面でご支援しています。ここでは、新年度の募集が始まった（平成31年3月1日現在）2事業について、また、今後募集を予定している事業についていくつかをご紹介します。

### 募集中の補助事業（3月25日現在）

## 01 新分野展開スタートアップ支援事業

本県の中小企業者が持続的な成長を目指して、経営の多角化や事業転換に取り組む場合に、設備や販路開拓等にかかる経費の一部を助成し、新分野への進出を支援します。

申請受付期間 2019年5月7日（火）17:00 必着

助成対象者 県内に主たる事業所を有し、1年以上の事業実績があり、過去3年間の平均または前事業年度の売上額が年間10億円未満の中小企業者等

助成率 2/3以内

助成限度額 1,000万円（下限100万円）

助成対象期間 2019年7月下旬（交付決定日）～翌年6月末まで（予定）  
（原則1年間 ※特に必要と認められる場合は24月以内で設定可）

#### ① 使い勝手の良い制度設計

市場調査などのソフト事業から製造設備などのハード機器購入まで、県が実施する他の助成に比べて対象となる経費範囲が広い。

#### ② 最大級の助成制度

助成率（2/3以内）、助成限度額（1,000万円）と県の助成金の中でも助成規模が大きい。

#### ③ 関係機関の連携によるフォローアップ

事業開始後5年間にわたり、金融機関、商工会議所・商工会、当支援センターが手厚いフォローアップを実施。

## 02 創業支援事業（ふるさと企業育成ファンド）

創業者が行う地域の需要や雇用を創出する取り組み等に対して、店舗等の賃料や広報費用など、起業・創業に必要な経費の一部を助成します。

申請受付期間 2019年5月17日（金）17:00 必着

助成対象者 ① 福井県内において、助成事業期間完了日までに個人開業または会社、企業組合、協業組合、特定非営利活動法人の設立を行い、その代表となる者。  
② 県内に主たる事業所を有しており、開業日が「2015年4月1日以降の中小企業者」。  
※ただし、「みなし大企業」は中小企業者から除く。また、過去に「地域中小企業応援ファンド～ふくいの逸品創造ファンド～創業支援事業」の助成を受けた事業者を除く。

助成率 2/3以内

助成限度額 200万円

助成対象期間 2019年8月下旬（交付決定日）～翌年7月末まで（予定）  
（原則1年間 ※特に必要と認められる場合は24月以内で設定可）

### 今後募集予定の補助事業（主なもの、3月25日現在）

#### ● おもてなし産業魅力向上支援

①店舗・施設改装、設備導入 ②商品開発  
県外からの観光客等の受入れ態勢の改善等について、店舗の改装や設備導入、新商品開発など、観光客向けの新たな取り組みに対し、その費用の一部を助成します。

#### ● ふくいの逸品創造ファンド

県内企業が、地域資源を活用した商品開発および販路開拓の新たな取り組みについて、その費用の一部を助成します。

#### ● ふるさと企業経営承継円滑化

①事業改善型 ②承継準備型  
後継者が継ぎたいような事業への改善や、事業承継の準備に必要な企業価値の評価に伴う費用の一部を助成します。

※詳細は順次HPなどでアップいたします。予告なしに変更になる場合がございます。何卒ご了承ください。

お問い合わせ （公財）ふくい産業支援センター 販路・資金支援部 資金支援グループ  
TEL 0776-67-7406 FAX 0776-67-7429

# 今月の注目企業

ふくい産業支援センターの事業や施策を活かし、前向きにがんばる県内企業の取り組みを紹介

特集連載企画

## 老舗旅館が

## 「健康プログラム体験型」宿泊施設に

### 里山オーベルジュ藤屋

小浜市東部、国宝の本堂や三重塔などを擁する明通寺。そこからほど近い場所に昨年3月、新たにオープンしたのが「里山オーベルジュ藤屋」です。手掛けるのは訪問看護事業などを手掛ける株式会社ふらむはあとりハビリねっと。新事業展開の経緯や今後の展望などについて、会長の安倍浩之氏、副社長で理学療法士の福山支伸氏、料理長の森下大地氏に伺いました。



#### 既存事業との親和性検討 施設コンセプトを立案

「閉館した旅館を高齢者向け施設として活用してもらえないか」―約2年前、安倍氏にそんな相談が寄せられたのが同館誕生のきっかけでした。前身である「ふじや旅館」は100年以上の歴史を誇る宿。都市部などの常連客が多く、地域コミュニティの場としても親しまれていたことから、社内で「ふじや旅館」の店主や地域のために再興したい」と活用に向けたプロジェクトが開始しました。嶺南地方や京都府北部地方で、グループ法人内で、医療

保険事業、介護保険事業、健康づくり事業など12事業種20事業と幅広く展開する同社。既存事業と宿泊施設との親和性を検討した結果、「中高年者の生活習慣病予防（介護予防）」、「要介護状態にある高齢者の自立支援」の2本柱を目的とする、健康プログラム体験型宿泊施設というコンセプトが固まったといいます。旅館の建物をそのまま引き継ぐとはいえ、顧客の利便性向上のためにはバリアフリー化などの改装が必要です。安倍氏が小浜商工会議所に相談したところ、ふくい産業支援センターの『新分野展開スタートアップ支援事業助成

金』を知ること。申請書に《旅行を楽しみながらリハビリする》《老後の備えより予防》の重要性を啓発する《当社の既存事業と旅館事業には緊密な関連性がある》など社会的意義を強く訴えた結果、2017年度の助成対象企業11社の一つに選ばれることとなりました。

#### 隣接の農園を交流の場に 来園促す会員制度も

「オーベルジュ」とは、フランス語で宿泊設備を備えたレストランの意。同社のグループ企業が地産地消の健康惣菜店を運営するノウハウを



宿泊室の様子。部屋ごとにコンセプトを設け、異なる雰囲気。

株式会社ふらむはあとりハビリねっと  
所在地：小浜市南川町12-13  
代表者：小林裕和氏  
資本金：1,500万円  
事業内容：健康体力づくり事業、介護保険事業、旅館業、障害時通所支援事業、小売業等  
従業員数：50名（パート含む）  
電話番号：0770-53-3028  
https://fujiya248.com/



安倍浩之氏 福山支伸氏 森下大地氏

朝食の会」や、地元の親子を対象にした収穫体験など食をキーワードにしたイベントも多数開催。森下氏は「当館がある地区は自分の出身地でもあり、料理長という立場から『藤屋に行く』と楽しいことが待っている」という食関連イベントを今後も企画していきたい」と話します。

現在のスタッフは、正社員6人十パート従業員という構成。隣接する農園「AGRI COMゲーム」を、宿泊者と地域コミュニティとの交流の場と位置付け、「農活動は運動器障害にならないための体力づくりにつながる」と呼び掛けます。農園への来訪を促す「里山いきいきプロジェクト」という会員制度では、来園時の健康チェック、体力チェック、認知症チェック、健康講話などの優待制度も設けます。

#### 「誰もが行きたくなくなる旅館」目指し接遇向上に意欲

大々的な広告は打たず、ホームページやSNSなどで自分たちの手の届く範囲でプロモーションを展開。ホームページは日英並記で、



外国人向け情報サイトへの登録なども行いインバウンド需要も念頭に置いています。京都など関西方面からの好アクセスが功を奏し、ハワイ在住のフラダンス講師などの宿泊もあつたといいます。

先ごろオープン1年を迎えた同館。福山氏は2年目のプランをこのように話してくださいました。

「予防介護に関する講座は一般的に堅苦しいタイトルものが多いのが現状です。しっかりと企画内容であることはもちろんだが、目を引くようなネーミングにすることで予防介護をより身近に感じてもらえれば」

事業所を展開するグループのリーダーとして、安倍氏は「誰もが行きたくなくなる旅館」を目指し接遇の磨き上げをしていきたいと力を込めます。「要介護というハンディがあっても、当事者は旅行先で自らが『区別される存在』であることを望んでいるわけではありません。誰もが行きたくなくなる旅館をつくりあげた結果として、当初想定した層にとっても魅力的にうつる宿となる。山頂に到達するまでには回り道も多いでしょうが、いろんな人と出会いヒントをもらいながら磨きをかけてい



地域の健康づくりのイベントに利用され、人気となっています。



地元の親子が参加した収穫体験の様子。

この事業を活かしました  
新事業展開スタートアップ支援事業  
5/7まで募集中!  
詳しくはインフォメーションページ(P11)をご覧ください。

きたいですね。福山氏、森下氏も安倍氏の言葉にうなずき、2年目に向けた意気込みをのぞかせます。



# 産業技術 総合 研究所

教えて!

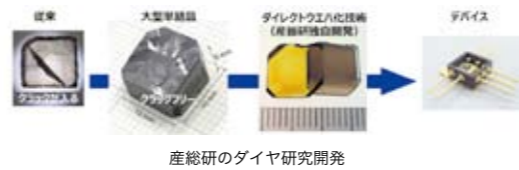
日本で最大級の公的研究機関である「国立研究開発法人産業技術総合研究所」(通称 産総研)は、日本の産業や社会に役立つ技術の創出とその実用化や、革新的な技術シーズの事業化に向けた取り組みを行う中核的な機関です。このコーナーでは毎回、福井県の企業や研究者が関わる研究開発について、研究者の方々からご紹介いただきます。

## 究極の半導体材料「ダイヤモンド」で持続的安心安全な社会を支えたい

国立研究開発法人産業技術総合研究所  
先進パワーエレクトロニクス研究センター 総括研究主幹  
ダイヤモンド材料チーム 研究チーム長(兼) 竹内 大輔 氏

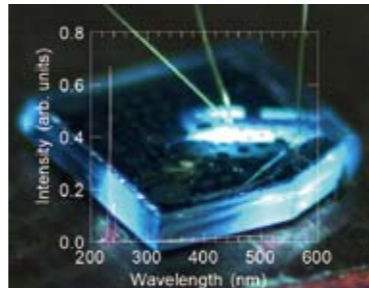
### 究極の意味

ダイヤモンドは宝石としてみなさんにも身近な存在ですが、数ある宝石の中でも唯一、酸素を含む化合物(酸化物)ではない、炭素という一つの元素だけからなる結晶です。今年メンデレーエフが元素周期表を提案して150年目ですが、二行目(第二周期)の左から4番目の第IV属にあり、その下には今の情報化社会を担っているケイ素(シリコン)、ゲルマニウムがあり、半導体材料になる性質があります。半導体としての特徴(禁制帯幅、誘電率、絶縁耐圧、熱伝導率、電子などの移動度、飽和速度、など物性値と呼ばれるもの)から材料間の比較となる指数を求めると、最高の値が得られることから、ダイヤモンドが究極の半導体と期待されています。もちろん、作ること、加工すること、自在に制御することが難しい材料ですが、我々は、20年以上かけて、デバイスの要素技術となる、単結晶合成技術、デバイスプロセス技術を積み重ね、ダイヤモンドならではのデバイス開発に繋がる成果を挙げてきています。



### 電力、宇宙、原子力、そして量子応用へ

昨今の省エネルギーを担う重要な技術の一つとして、電力を自在に効率よく制御するパワーエレクトロニクスが世界的に注目されており、日本はその最先端を担う位置にいます。今後のさらなる開発では、絶縁破壊や高い温度にも耐える過酷な要求となっており、ケイ素(Si)の次として、現在、炭化ケイ素(SiC)、窒化ガリウム(GaN)、酸化ガリウム(Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)が注目され、さらに次の段階として、先に述べた究極の性質からダイヤモンドが期待されています。また、全物質中最高の熱伝導率を持ち、耐放射線性に優れている点に特化して、宇宙や原子力分野への応用も注目されています。最近の動向では、量子情報技術がいよいよ応用の観点から注目されてきていますが、室温・固体デバイスで量子情報を扱える唯一の材料としても世界中で注目され始めました。ダイヤモンドの半導体技術は日本が独自に世界に先駆けて開発してきた分野であり、産総研は、国内外の関係機関の研究者らと通じて、実際にデバイスを開発する拠点として活動しています。



### 福井県内企業との連携

私は福井市出身で、藤島高校卒業後、大学・大学院に進学・修了後、1997年に産総研に入所して以来、ダイヤモンド半導体に関する研究に従事しています。現状では福井県関連企業の方々との共同研究等、具体的な連携関係がございませんが、実用化や実証についてダイヤモンドを試したい、ダイヤの技術に使えないか、もっと知りたい等の何かございましたら、ぜひ産総研福井サイトにご相談下さい。

### イノベーションネットアワード2019(全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞)に「ふくいオープンイノベーション推進機構」が選定されました

地域の資源や特性を活かした産業支援の取り組みのうち、特に新産業、新事業創出に成果を上げた取り組みにおいて最も優秀な取り組みであると評価されました。

ふくいオープンイノベーション推進機構(県工業技術センターと(公財)ふくい産業支援センターが事務局)は、県内企業、大学・高専、公設試、金融機関などの産・学・官・金による連携を高め、革新的な研究、製品開発、事業化を支援しています。



# Start a New Project

## 創業者・若手経営者の挑戦

(公財)ふくい産業支援センターでは『ふくい創業者育成プロジェクト』を通じ、県内の創業者をさまざまな角度からサポートしています。ここでは、創業者や若手経営者の新しい視点を活かしたユニークな事業や立ち上げまでの道のりをご紹介します。

## Instance 11 美容師だからこそ掴めるニーズを武器に 男性用化粧品ブランドのニッチトップを目指す

### 自然由来にこだわった美容室を開店

寺嶋さんは専門学校を卒業後、美容師として10年間勤務していましたが、勤務先の美容室で使用する液剤による手荒れに悩み、「自然由来の成分にこだわった美容室を自分で作りたい」と一念発起。2016年に美容室を開店しました。従来の利益追求型ではなく、利益率を下げつつもリピート率を上げて売り上げを伸ばす仕組みをつくって業績を伸ばし、現在は県内に美容室3店舗を経営。ホットビューティー福井エリアランキング2年連続1位を記録しています。

### 男性美容に特化した商品開発に着手

「小さい頃から、絵をかいたり小説を書いたり、ものづくりが好きでした」と振り返る寺嶋さん。美容師になって3年経った頃から、「いつかメーカーになって、こだわった商品を開発していきたい」という夢を抱き始めます。



寺嶋さんは2017年に株式会社ミネルバコスメティックスを創業し、念願の商品開発に着手。“男性美容”というニッチな市場に着目し、第一弾として男性用ドライシャンプー『スエロス』を商品化。第2弾として美容液をローンチするなど、美容室を経営する傍ら商品開発にも精力的に取り組んでいます。

### 世界を舞台に活躍する起業家へ

「今後も、男性美容に特化した商品を開発して、男性が格好よくなる風土を広めたい」と意欲を燃やす寺嶋さん。「いつか海外展開を果たし、世界に向けて日本の存在感をアピールしていくことが目標」と話します。グローバルな視点からビジネスを考える原点は、15歳のときにニュージーランドに留学した経験が活かされているのだそう。今後はさらにビジネスに磨きをかけ、世界を舞台に活躍する起業家として、飛躍を遂げられるのではないのでしょうか。



株式会社ミネルバコスメティックス  
代表 寺嶋 聡史さん  
<https://www.minervacosmetics.jp/>  
所在地: 福井市高柳1丁目802 アーバンヒルズ  
TEL: 0776-97-5512  
E-mail: tminervacosmetics@gmail.com

## Instance 12 アパレルブランドのデザイナーを経て創業 品(ひん)の良さにこだわったアクセサリーを制作

### アパレルブランドのデザイナーを経て創業

青山さんは、服飾専門学校を卒業後、アパレルブランドのデザイナーとして東京の会社に就職。洋服やアクセサリーのデザインを数年間手掛けた後、結婚を機にUターンしました。2015年4月からは、アクセサリー作家としての活動を開始。お客様を着実に増やしていき、2018年4月には開業届を提出。本格創業を果たしました。

### 品の良さにこだわったアクセサリー

「越前和紙の手漉き工場を営む家庭で育ち、自然とものづくりの道を選びました」と話す青山さん。ハンドメイドで丁寧に作られたアクセサリーは、品(ひん)の良さにこだわったデザインが特徴で、そのすべてに動植物のモチーフが用いられています。「かわいいけれど、甘すぎない」と幅広い年齢層から支持を受け、



現在は、ルミネやパルコなど、全国各地のファッションビルで開催される展示会に精力的に出店し、全国にファンを広げています。

### 4月にはイベント開催に挑戦

2016年に出産し、自然育児を実践したことをきっかけに、「大量生産・大量消費・大量廃棄の現代社会の中で、ものづくりを仕事にしたいのかと葛藤した時期がありました」と青山さんは振り返ります。しかし、「そんな問題意識をもっている自分だからこそ、伝えられるメッセージがあるはず」と力を込めます。4月には越前市・市之助一丁目を会場に、“自然と不自然なアクセサリーたち展”と題してイベントを開催予定。「ファッションだけでなく、食や環境にも目を向けてもらえるよう、女性たちに働きかけていきたい」と青山さん。福井発のアクセサリー作家として、さらなる活躍が期待されます。



サントタイムソーイング  
代表 青山 佳奈子さん  
[maldamourinfo.wixsite.com/maldamour](mailto:maldamourinfo.wixsite.com/maldamour)  
所在地: 越前市岩本町  
TEL: 090-5175-3129  
E-mail: santimesewing@gmail.com

2018年度グッドデザイン賞／株式会社 エリカ オプティカル

## 感染対策アイシールド [ アイケアフェイスガード ]



### 【DATA】

- プロデューサー 株式会社 エリカ オプティカル
- ディレクター 同社 専務取締役 北 弘一
- デザイナー 同社 企画デザイン 松儀 里美
- 仕様
  - フレーム：ポリカーボネイト
  - パッド：ナイロン フレーム重量：14g
  - フィルム：Mサイズ、Lサイズ（2種類）
  - PET（厚み0.3mm）※両面曇り止めコート付

### 【審査委員の評価】

医療現場という厳しい環境下で、感染対策アイシールドとして求められるいくつかの要件（利便性、安全性、視認性、実用性、機能性等）を満たしながらも、極めてシンプルかつ質の高いデザインとなっている点が評価された。

医療現場で求められる安全性と機能性を基に、眼鏡の産地の高い設計技術を用い、安全性、快適性、視認性を追及した感染対策アイシールドです。眼鏡の上から着用可能で、まるで着用感がない軽さとフレームがずれないフィット感を実現しています。フィルムは、従来では防ぎきれなかった上からの微細な飛沫を、フィルム曲げ加工により侵入を防ぎ、感染リスクを大幅に低減し高い安全性を実現。さらに、フィルムの歪みを抑え、着用者の眼の健康も配慮したデザインになっています。フィルム両面曇り止めコート付でマスク併用でも曇らない視界を確保。フィルム交換も容易で、かけ心地、視認性、安全性に優れた、ストレスフリーなフェイスシールドです。

## 感染対策保護メガネ [ アイケア グラス プレミアム ]



### 【DATA】

- プロデューサー 株式会社 エリカ オプティカル
- ディレクター 同社 専務取締役 北 弘一
- デザイナー 同社 企画デザイン 松儀 里美
- 仕様
  - フレーム、レンズ：ポリカーボネイト
  - ラバー：TPR ※レンズ両面 Premium
  - Zero fog（曇り止め）コート付

### 【審査委員の評価】

外科手術などで求められる感染対策保護メガネについて、求められる要件を整理し、構造を創意工夫することで、シンプルながら機能性が高く、かつリユース可能な製品を作り上げた点が評価された。

医療現場での感染対策として、アルコール消毒やオートクレーブ滅菌（121°C30分条件）後も曇り止め効果が持続する、従来にないリユースタイプの感染対策保護メガネです。耐水性、耐アルコール性、耐傷性に優れた曇り止めコート（Premium Zero fog コート）は、福井大学医学部付属病院との共同研究品です。使用後は、状況に応じて消毒、滅菌まで対応可能。常にクリアな視界を保ち、衛生的にご使用いただけます。眼鏡の上からも着用可能で、視界が広く長時間ストレスを感じることなく、医療処置に集中できます。

第24回

# グッドデザインシンキング

福井県のグッドデザインを紹介

## 第6回 今回ご紹介する研修

### ふくい管理者養成塾 2019 （「平成塾」後継コース）

募集中!

- 日時 2019年6月13日(木)～10月24日(木)  
各日9:30～17:00（初日のみ16:30まで）
- 会場 福井県中小企業産業大学校（福井市下六条町16-15）
- 受講料 140,000円（消費税別） 定員 25名
- 講師 川田達男 氏（セーレン株式会社代表取締役会長）をはじめ、全国的に活躍する実力講師陣

## 「平成塾」をリニューアル 中核人材を養成する長期プログラム

2018年度まで中産大が実施してきた「平成塾」は、2019年度から「ふくい管理者養成塾」としてリニューアルします。同塾は、管理者・経営幹部・経営者・後継者といった企業経営の中核を担う人材を養成する長期コースで、12日間、異業種の仲間が刺激し合いながら学びます。開講は6月13日。人・組織の成長に貢献する人材の育成に、是非ご利用ください。

## 研修の特長

### 1. 経営に必要な知識・スキル・考え方を身につける

① これからの企業経営に求められる力を実践的なプログラムで養成

#### 主なプログラムのテーマ

組織のマネジメント、コミュニケーション、リーダーシップ、部下育成、論理的思考、事業戦略・マーケティング、プレゼンスキル

② 実力講師陣が分かりやすい講義を展開

全国的に活躍する講師陣が、研修やコンサルティングの豊富な実績に基づき、事例を取り上げながら分かりやすい講義・指導を行います。

③ 積極的な議論で「学び」を深化

研修はグループワークが中心。徹底的に議論し合うことで異業種の仲間から新たな気づきや重要な「学び」を得ることができます。

### 2. 学びを主体的に実践に活かす人材を育成する

① 実践への応用

研修は受講することが目的ではありません。仕事の成果に結びつけるために、まずは学びを実践の場

# 中産大通信

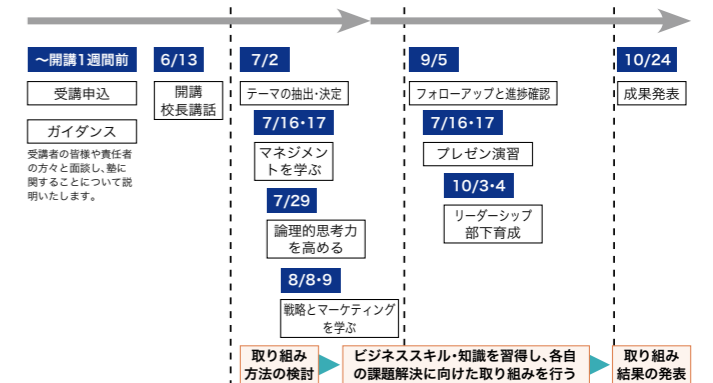
## 今求められる人材育成

中産大（中小企業産業大学校）が近々実施する研修をピックアップし、ビジネスの普遍的な原理原則にトレンドを交えながら内容を紹介いたします。

で活用していただくことです。同塾では、各自が自社・自組織を念頭にテーマを設定し、期間中の学びを通してテーマへの取り組みを実践します。そして、最終日に取り組みの成果を発表します。

② コーディネーターがサポート

中産大の研修で講師実績がある久保田康司氏（株）マネジメント・ラーニング）がコーディネーターを務め、各自のテーマの設定、取り組み、成果発表に至るまでを丁寧にサポートします。



### ★研修の詳細をホームでチェック

<http://www.fisc.jp/human-resources/00413/>

ふくい管理者養成塾

検索



### 【お問い合わせ先】

（公財）ふくい産業支援センター  
人材育成部（中小企業産業大学校）  
TEL：0776-41-3775 E-mail：manabi@fisc.jp

2019年度の中産大研修もホームページで確認できます。所定のフォームに入力するだけで簡単に申し込みできます。

中産大

検索

# INFORMATION

## 第4回福井ふるさと企業表彰 受賞者決定！



### 最優秀賞

**(株)米五 (福井市) [味噌製造] (代表者) 多田 和博**

創業 350 年の老舗味噌店。昨年には量り売りの直販店に飲食とみそ作り体験を集約した複合施設をオープン。「出張みそ教室」や福井の風土を味わえる新商品開発など、県内外へ福井の味噌文化を発信している。



### 優秀賞

#### ものづくり部門

**(株)シマノ (鯖江市) [機械器具製造]**  
嶋野 寛之

**真名鶴酒造(資) (大野市) [酒製造]**  
泉 恵介

**(株)若吉製作所 (鯖江市) [医療機器製造]**  
若吉 修似

**マルカワみそ(株) (越前市) [味噌製造]**  
河崎 宏

**(株)カガセイフン (福井市) [そば粉製造]**  
加賀 健太郎

**水間石材工業(株) (福井市) [石製品製造]**  
水間 久一

**(株)小大黒屋商店 (福井市) [ろうそく製造]**  
大津 伊平

**山元菊丸商店 (福井市) [醤油等製造]**  
山元 裕次

**(株)廣部硬器 (福井市) [窯業]**  
廣部 耕一

#### 商業・サービス等部門

**(株)等愛会 (若狭町) [地域福祉・介護保険サービス]**  
加藤 寿一

**(株)吉光工業 (福井市) [屋根・板金工事]**  
吉田 知志

**(株)ホリタ (福井市) [文房具小売]**  
堀田 敏史

**(株)相木魚問屋 (敦賀市) [鮮魚卸小売]**  
壁下 恒和

**(株)増田喜 (福井市) [古紙卸売]**  
増田 喜一郎

**うらたに旅館 (小浜市) [民宿]**  
浦谷 俊晴

**(有)ユキチ産業 (勝山市) [廃棄物処理]**  
北川 賢一

#### 福井ふるさと企業表彰とは

本県産業の振興や地域経済の活性化に貢献している中小企業等にスポットを当て、そのキラリと光る優れた取組み等を表彰しています。

詳細は、県産業政策課のHP (<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/sansei/>) をご覧ください。



### 中島屋呉服店

## 日本の伝統文化を体験できる呉服店 文化の発信を軸に新たな販路を模索

元禄 14 年 (1701 年) の創業から福井市呉服町で暖簾を守る、県内最古級の老舗呉服専門店である中島屋呉服店。店主の中島成利太氏が自ら産元に出向き、作り手と一緒にプロデュースした確かな品を取り扱っており、本物の着物を求める顧客から強い信頼を得ています。

とはいえ、ライフスタイルの変化で業界全体は縮小傾向。現状を打破し、新規顧客の獲得や「呉服町を再び人で賑わう街にしたい」という地域の願いに応えるため、日舞など「日本の伝統文化を発信する呉服店」をコンセプトとし、補助金を活かし店舗の一部を舞台として利用できるよう改装しました。

お披露目を兼ね 2 月に行った演舞会では、20 年以上の経験を持ち花柳流の名取でもある同店女将による日舞のほか、店主の能の謡いや三味線なども披露され、来場者を楽しませました。「お客様の多くは着物を着る機会やお習い事の発表の場を求めているんじゃないかと。粋にはならず、お茶会やギャラリースペースなどとして自由に使ってもらえる場にしていきたい」と語るお二人。北陸新幹線の延線や中部縦貫道の全線開通を控えた今、全国や海外からの来店も視野に入れ、着物と日本文化を軸に、敷居を低く抑えた自由な展開を見据えています。

活用事業：ふくいの老舗企業チャレンジ応援事業

中島屋呉服店  
<http://gofukugura.com/>  
福井市春山 2-16-8  
TEL: 0776-24-1483

話題の

新スポット巡礼

No.06

県内企業が打ち出した気になる新スポットに、MC 編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

## 企業情報メール便

販路拡大のチャンス！  
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



### ●次回実施号

VOL.36 5月25日発行予定  
チラシ提出締切日：5月17日（金）  
チラシ：1,700部をご提出  
（持参または配送）ください。

### ●料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税別)
A4判以下のチラシ	6,000円
A4判超～A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,000円
A4判以下のパンフレット(10ページ程度まで)	12,000円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。  
1号につき約10社まで受け付けます。  
なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT 編集室  
TEL: 0776-67-7414 E-mail: kouhou-g@fisc.jp

## 福井県マルチメディアサポートセンター 4Kカメラ・周辺機材 好評貸出中！！

### 4K革命はもうすぐそこ！

現行のフルHDを超える超高精細な画質で、立体感、臨場感ある映像を楽しめる4K。2020年の東京オリンピック開催頃の普及を目指し、2018年に実用放送が始まり、4K規格がスタンダードになりつつあります。



### 現時点での4K撮影のメリットは？

**01 HDカメラよりも鮮明な映像を作ることができる**  
(元のファイルサイズが非常に大きいため、HDサイズに圧縮することで最大限の鮮明化が可能)

**02 編集時の調整に便利**  
(HDサイズに変換する際、トリミングすることができる。パンやチルト、ズームのような動きをつけることも可能)

お問合せ  
(公財)ふくい産業支援センター  
ふるさと産業育成部 ベンチャー・Eビジネス支援グループ  
TEL 0776-67-7411

本誌に関するお問い合わせは

公益財団法人 ふくい産業支援センター <http://www.fisc.jp/>  
総務部 TEL:0776-67-7414/FAX:0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp  
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声を  
お聞かせください！！

「○○が面白かった、ためになった」、「△△をもう少し□□にしたらどうか」、「●●のテーマについて紹介して欲しい」、「▲▲会社がやっている■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

## (公財)ふくい産業支援センター 組織改定のお知らせ

平成31年4月より、  
当支援センターの組織を改正します

部・グループの編成を変更することで、相談窓口（創業、新事業、IT・IoT・AI、事業継承等）を一本化し、幅広い相談業務への対応と、さらに効果的な創業支援をできるよう、また、助成金などの資金支援により商品開発から販路開拓までを一貫して効率的に支援できるよう体制を整備します。

新規事業への挑戦、新技術や新商品の開発、さらなる発展に向けた経営の見直し等々をお考えの企業・創業者の方々のより一層の力になれるよう、役員一同、皆様のご利用をお待ちしております。

### 新組織概要 (改正のあった部のみ)

ふるさと産業育成部  
〔総合相談・コンサルグループ  
ベンチャー・Eビジネス支援グループ〕

販路・資金支援部  
〔販路開拓営業グループ  
資金支援グループ〕

## 新聞記事から集めた 県内企業の 新商品・新規事業

■収集期間：平成31年1月1日～31年2月28日  
■収集対象：福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

【食料品・飲料】	
同社は、県内の酒造会社で初めて、食品衛生管理の国際基準「HACCP（ハサップ）」の福井県版の認証を取得した。日本酒ブームとなっている海外の消費者や訪日客にも安全性をアピールでき、広く発信していく。	黒龍酒造（永平寺町）
県産六条大麦の加工食品を企画販売する同社は、近年人気が高まっているもち麦を発売する。食物繊維が豊富に含まれ、コメに混ぜて炊くなどして食べる。県内での作付の大麦からの転換が進んでおり、商品化を企画した。	福井大麦倶楽部（福井市）
【繊維/衣服】	
県内繊維メーカー3社は独自の技術を生かした高級ストールをそれぞれ開発、統一ブランド「BATTAN BATTAN（バタン バタン）」を立ち上げた。いずれも高品質なシルクとカシミヤの糸を使い、心地よい肌触りの製品に仕上がっている。	織物工房風美社（福井市） 山崎ヒロロード（越前市） 東野東吉織物（勝山市）
カーテン製造・販売の同社は、独自に開発したインクジェットプリンターを使ったカーテン製造の量産体制を構築した。多品種小ロットに対応し、在庫レスや環境対応にもつながるとみて、オーダーメイド等の拡充を進める。	アルマック（福井市）
カーテン製造・販売の同社は、カーテン柄をパズルのように組み合わせる「PAZLCA（パズルカ）」の柄の大きさを3段階から選べる「LOOPE（ルーベ）」の新ブランドを立ち上げた。カーテン柄を注文できる通販サイトも立ち上げた。	カズマ（福井市）
浴衣帯で国内トップシェアを誇る同社は、県産ポリエステル生地を使った着物、浴衣を商品化した。家庭で洗濯できて着付けも不要。どんなデザインや色にも対応し、10着程度の小ロットから注文に応じる。	小杉織物（坂井市）
【眼鏡】	
眼鏡枠企画製造販売の同社が、フレームの研磨を行うロボットを開発、実用化させた。ロボットによる研磨作業は珍しい試み。建設中の新工場にもロボットを複数台導入する計画で、イノベーションの拠点にしたいと話している。	金子眼鏡（鯖江市）
【伝統工芸】	
伝統産業商品企画の同社は、越前和紙と越前漆器、京都のお香という県内外3つの伝統工芸を組み合わせた「香り箱 菊」を開発した。越前和紙でできた菊の花の下にお香袋が忍ばせてあり、ふんわりと和の香りが立ち上がる。	日和（越前市）
越前和紙の紙漉き職人が、工場での使い勝手を考えたワーキングウェアを開発した。機能性にインスタ映えするデザインを加味したウェアで、伝統工芸士の働くイメージアップにつなげる。作業風景を公開する機会が増えたこともきっかけに。	長田製紙所（越前市）
ガソリンスタンドの同店が、越前和紙の着せ替えタンブラーを開発、販売している。地元の魅力発信に努める店主が、越前和紙に携わる女性の会「越前和紙倶楽部」などと連携して考案。ベース紙の越前和紙は7種類ある。	林石油店（越前市）
【その他の製造業】	
熱転写マークと反射材製造販売の同社は、反射材をプリントしたTシャツブランド「LIGHT FORCE STORE（ライトフォースストア）」を立ち上げた。反射材を使った衣類でありながらファッション性を高めているのが特長。	丸仁（福井市）
アイロンプリント用紙を開発・販売する同社は、家庭用プリンターとアイロンを使い木材にカラー印刷した絵柄を転写する用紙を開発した。DIYや子どもの玩具づくりの需要を見込み3,000万円の売り上げを目指す。	クイックアート（福井市）
転写ラベル製造販売の同社は、フッ素を使わない撥水剤を採用した生地専用の熱転写技術を開発した。世界でもほとんど前例がない技術で、海外メーカーからの受注獲得にもつなげたい考え。	ジャパンポリマーク（福井市）
ホームシアター用映写スクリーン製造の同社は、縁部分であるスクリーンマスクに消費者の好みの柄を印刷するサービスを始める。業界ではほとんど前例がなく、個人から飲食店、企業まで幅広い需要を見込む。	シアターハウス（福井市）
若狭塗箸製造卸の同社が開発した箸とスプーンのセットが、ドイツ フランクフルトで開かれた消費財見本市のテーブルウェア用品部門で、最もデザインに優れているとして、審査員の人気投票で一位に選ばれた。	スタイル・オブ・ジャパン（小浜市）
【商業/サービス】	
溶接加工の同社は、工場の一角を「溶接テーマパーク」として市民に開放している自社事業を活かした経営支援事業に乗り出した。人材不足に悩む中小の鉄工所にテーマパーク事業のノウハウを伝授、人材を確保してもらおう狙い。	長田工業所（坂井市）
スクールショップ「イクラボ」を運営する同社が、全身を自動採寸できる「3Dボディスキャナー」システムを開発した光和衣料（埼玉）と連携して、採寸体験会を開いた。学生服の採寸を0.5秒で行いオーダーメイドの1着が作れる。	山耕（越前市）
老舗提灯店の同社が、本格的なちょうちん作り体験を始めた。三代目の小島まりあさんが企画し、デザイナー・三木あいさんに、絵付け用の県内名所や特産のはんこの制作を依頼。手軽に職人気分を味わえ、女性客を中心に人気を集めている。	いとや提灯店（坂井市）
「スマート農業」を推進する同2社は、県内の空き家をリフォームして貸し出し、農業体験を伴った滞在型観光「グリーンツーリズム」と組み合わせた会員制の新事業に乗り出す。観光客を呼び込み1ターン需要を掘り起こす。	白山AIファーム、白山L.T（福井市）
カジュアル衣料ブランド「ユニコロ」と「菟」醸造元の同社のコラボレーションTシャツが国内販売される。菟のTシャツは藍色で、トップブランドの「超吟」のパッケージに描かれているマークと、鳳凰をちりばめたデザイン。	加藤吉平商店（鯖江市）
不動産開発の同社は、真冬の屋外環境を再現して、家の断熱性を体感できるショールームをオープンした。旧省エネ基準の部屋との室内温度比較や、複数種の窓の断熱効果の違いなどを、季節を問わず体験できる。	タキナミ（福井市）
特殊高圧洗浄コーティング機製造販売の同社が持つ車の塗装保護技術「ウォータコート」のシステムが、国交省の新技术活用システム（NETIS）に登録された。国のお墨付きを得たことで公共工事での採用を目指す。	エムエヌ（福井市）